



サンポートホール

通信

2006・1・25

Vol. 9

I N D E X

特集

巻頭インタビュー **奥村愛**

ステージプログラム 2006年1月 4月主催・共催事業

事業レポート 観劇談で綴る演劇シーン

さんぼーとCLUB(友の会)入会のご案内

サンポートホール高松施設利用のご案内



癒し系ヴァイオリニスト 奥村 愛

優しく穏やかな微笑みの中にも、しっかりとした確かな実力と豊かな表現力を持つヴァイオリニスト、奥村愛。

2002年10月にCDデビューし、クラシック界新人異例の20,000枚を超える売上枚数で話題を呼びました。

そのキュートな笑顔でテレビCMにも出演し、多彩な活躍で注目されています。その彼女が、今年3月、サンポートホール高松大ホールにおいて、瀬戸フィルとの共演でソリストとして登場します。

ウィーンでの生活

プロフィールを拝見すると、4歳からヴァイオリンを始めたということですが、そのきっかけはなんですか。

奥村 父がヴァイオリン、母がピアノをしていたので自然に私もピアノとヴァイオリンを始めました。ピアノはなんとなく続かず、いつの間にかヴァイオリンだけになっていました。

奥村さんのお父様は、元アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団のヴァイオリニスト。そのため、7歳までアムステルダムに住んでいたそうです。生まれ育った環境の中に自然に音楽が、そしてヴァイオリンがあった、ということでしょう。

ところで、奥村さん自身、2004年から約2年間ウィーンに在住していらっしゃいましたが、ウィーンの街の印象はどうでしたか。

奥村 ウィーンは緑が多くとても静かで、昔からの文化がたくさん残っているところです。街中ではヴァイオリンやクラリネット、歌などを演奏する人がたくさんいて音楽を身近に感じる事が出来る素敵な場所です。

街自体が小さく、地下鉄が整備されているのでどこに行くのにも便利。人が少ないので動きやすいですね。

日本との文化や習慣の違いで戸惑ったこと、苦労したことはありましたか。

奥村 小さい頃ヨーロッパで生活をしたこともあって、特に違和感みたいなものはありませんでした。ただ言葉の壁を感じたことはあります。向こうは自分の意思をはっきりと示さないといけないのですが、言いたいことがなかなか伝わらない、といった苦労はありました。

ウィーンでは、ウィーン・フィルのコンサートマスターであるライナー・ホーネック氏に学んでいらっしゃったそうですが、レッスンを受けてみての印象はいかがでしたか。

奥村 ホーネック先生はとても細かかったですね。時には、最初の音1つで5分~10分ということもありました。その曲を原点に立ってもう1度見直すことや、常にオーケストラやピアノとの兼ね合いなどを意識したレッスンをしてくださいました。

さて、そんなウィーンでの生活の中での楽しみといえば、やはり食事ではないでしょうか。奥村さんお気に入りの食事はどういったもので

しょう。

奥村 私はシュニッツェル(オーストリア風小牛肉のカツレツ)が好きですね。

ほかに、チーズやソーセージ、生ハムが美味しいので近所のスーパーで買って白ワインと一緒に食べるのが最高!

ウィーンは白ワインが有名で、それぞれのお店で造っている「ホイリゲ」というワインを飲みながら家庭料理を食べるお店がたくさんあります。ただ、お店の食事は日本と比べると味が濃いような気がします...

あとはケーキがとても美味しいです。王道ですが、シュニッツェル、ウィナーコーヒー、ザハトルテはやっぱりお勤めです。

ヨーロッパを訪れる日本からの観光客も多いと思いますが、旅行に来るならぜひこれを見て、といったおススメポイントを教えてください。

奥村 オペラは是非見ていただきたいです。日本では値段がとても高いイメージがありますが、ウィーンではリーズナブルな値段で見ることが出来ます。もちろんいい席は少し高めですが、それでも日本より断然お得です。

また、7月、8月は市庁舎前で「フィルムフェスティバル」というものが毎日開催されています。いろんな国の料理の屋台が出ていて、好きな料理を食べながら大型スクリーンで過去のいろいろな名演奏を見ることが出来ます。クラシックだけでなくジャズなどもあるのでとても面白いですよ。

日本とウィーンを往復しながらその才能をさらに磨き、昨年11月には『愛の悲しみ』『エンターテイナー』というタイプの異なるアルバムを2枚同時にリリースするなど、精力的な音楽活動を行っている奥村さん。

リサイタルやレコーディングなど、演奏活動は緊張感が続き、その上にテンションの維持などにも必要になるのではと思いますが、そんな中で一番ほっとする時はどんな時ですか?

奥村 リサイタルやレコーディングはなるべく自然体で出来たらなと思っています。

今は本を読むのが好きですね。今まではサスペンスなどが多かったのですが、最近はいろんなタイプの本を読むようにしています。お風呂にゆっくり入りながら本を読んでいる時が一番ほっとします。

あたたかい和やかなコンサートに

2006年がモーツァルト生誕250周年ということもあり、3月のサンポートホール高松での公演はモーツァルトの曲を中心にお届けする予定です。

さて奥村さんは、以前音楽雑誌のエッセイの中で好きな映画のひとつに『アマデウス』を挙げていらっしゃいましたが、モーツァルトの作品や生き方などをどう感じていますか？

奥村 映画『アマデウス』を初めて見たのはまだ小さかった頃で、印象としてはなんとなく怖かったような気がします。冒頭で流れるシンフォニーと最後にながれるレクイエムは今でも大好きな曲です。

大人になってくると、どうしても子どもの頃の新鮮な気持ちや心は忘れがちになってしまうけれど、モーツァルトは純粹できれいな子どもの心をそのままずっと持ち続けていた人なんだろうな、と彼の曲を聴くといつもそう思います。

今回のプログラムの中心はヴァイオリン協奏曲第5番「トルコ風」です。実は奥村さんは、2004年シンフォニア・フィンランディアの日本ツアーにソリストとして参加し、この曲を演奏して大好評を博し、特に思い入れがあるそうです。

奥村 私にとって海外のオーケストラとのツアーは初めての経験でした。シンフォニア・フィンランディアの方は、とても親切でやさしくて温かい方たちばかりでした。指揮者のパトリック・ガロワさんとフルーティストの瀬尾和紀さんも素敵な方でした。ひとつの曲、特にコンチェルトを続けて何回か演奏する機会はなかなかないのでとても勉強になりました。

パトリック・ガロワ氏と言えば、フルーティストとして人気が高く、それに加え指揮者としてのキャリアも築いていらっしゃいますね。

こうして着実に実力をつけている奥村愛さんのステージを、待ち遠しいと思っているファンの方も多いのではないのでしょうか。

そんなファンの方々にとって今回の公演にあたっての抱負をお聞かせいただけますか。

奥村 四国ではこれまでに何回かコンサートをしたことがあります。食べ物美味しく、自然がたくさん残っていて、いろんな方にとっても親切にさせていただきました。

瀬戸フィルとの共演は今回初めてですが、あたたかい和やかなコンサートに出来たらと思います。

今後の活動についての目標は。

奥村 今はとにかく1つ1つのコンサートを大事にすることかな。漠然としていますが直接人と触れ合える何かが出来たらなあ、とも思います。

最後に香川県は音楽教育が盛んな県でもありますので、音楽を志す子どもたちへメッセージをお願いします。

奥村 まずは音楽を好きになることです。楽しんでやるのが一番大切だと思います。プロを目指している方はそれだけでは無理だと思いますが…。

たとえ辛いことがあっても1つのことを続けることはとても素晴らしいことだと思います。必ず「やってよかった!」と思える時が来るはずですよ。



Profile

奥村愛 (Ai Okumura)

7歳までアムステルダムに在住。桐朋学園大学ディプロマコースで学ぶ。辰巳明子、ライナー・ホーネックの各氏に師事。1994年第48回全日本学生音楽コンクール全国大会中学生の部第1位入賞ほか、1997年多摩フレッシュ音楽コンクール、1999年第68回日本音楽コンクールヴァイオリン部門にて入賞。これまでに読売日本交響楽団、新日本フィルほか主要なオーケストラとの共演をはじめ、サイトウ・キネン・フェスティバルや河口湖音楽祭に出演。2004年12月にはパトリック・ガロワ指揮シンフォニア・フィンランディアの日本ツアーにソリストとして参加。2002年『愛のあいさつ』でワーナークラシックよりCDデビュー。翌年2枚目のCD『ロマンス』を、また2004年にはエイベックス・クラシックスに移籍して初の『maria』を、2005年11月にはあらたに『愛の悲しみ』『エンターテイナー』を2枚同時にリリース。CMやラジオ、テレビへの出演でも活躍するほか、トークを交えた数多くのリサイタルを行っている。

サンポートホール高松主催事業

モーツァルト生誕250周年記念

奥村愛 with 瀬戸フィルハーモニー交響楽団オーケストラ公演

2006年3月12日(日) 開場13:00 開演14:00

サンポートホール高松・3F大ホール

指揮/山田 和樹 ヴァイオリン/奥村 愛 オーケストラ/瀬戸フィルハーモニー交響楽団

[プログラム] セレナード第13番ト長調K.525「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」/モーツァルト作曲

ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調K.219「トルコ風」/モーツァルト作曲 交響曲第41番ハ長調K.551「ジュピター」/モーツァルト作曲 他

[チケット] 全席指定 前売: 一般/3,000円(会員/2,700円) 学生/2,000円(会員/1,800円)

2006年 1月 4月主催・共催事業

都合により催しの日程、内容等が変更される場合がございます。ご了承ください。

襲名披露
口上

特選落語名人会

襲名披露

九代林家正蔵

林家こぶ平改メ



林家正蔵

平成17年3月に林家こぶ平が江戸時代から続く大名跡林家正蔵を襲名しました。祖父は七代目林家正蔵、父はご存知、昭和の爆笑王・林家三平という、まさに生まれながらの落語家といえます。上野から浅草・浅草寺へのパレードやお練でお披露目をし、14万5千人が詰めかけ、九代林家正蔵の誕生を祝ったのは、テレビや新聞でご存知のとおりです。5月から豪華な出演者による「林家こぶ平改メ九代林家正蔵襲名披露 特選落語名人会」を全国70箇所で開催しており（予定含む）各地で大入りの盛況ぶりです。御来場いただいたお客様にも大好評を博しております。

落語の評判も上々の正蔵がトリを勤めるのはもちろんのこと、高松公演では上方落語協会会長・桂三枝、今や江戸落語に欠かせない存在の春風亭小朝、人間国宝（故）柳家小さんの孫で次代を担う期待の星・柳家花緑、色物には太神楽・曲芸の翁家勝丸が出演します。また『林家こぶ平改メ九代林家正蔵襲名披露口上』など見所満載の落語会です。2度と揃うことのない豪華な顔ぶれ、落語ファンならずとも絶対に見逃せません！

3月5日(日) 開演13:30 (開場13:00 終演予定15:45)

サンポートホール高松・大ホール

出演者 / 林家こぶ平改メ九代林家正蔵、

桂三枝、春風亭小朝、柳家花緑、翁家勝丸

林家正蔵、桂三枝、春風亭小朝、柳家花緑による

襲名披露口上付き

[チケット] S席4,500円、A席4,000円、B席3,000円

(平成18年1月14日(土)から発売中)

林家正蔵襲名披露香川公演事務局 tel.087-874-7862

桂三枝



春風亭小朝



柳家花緑



翁家勝丸



第1回高松国際ピアノコンクール

The 1st Takamatsu International PIANO COMPETITION 2006 3.18-3.26

香川県は、音楽大学に進学する人材の人口比率面で日本のトップクラスにあり、数々の音楽家を輩出するなど、クラシック音楽に対する関心が高い県であります。特に人口当たりのピアノ保有率は全国の2位に位置する程です。そんな背景を受け、この度『第1回高松国際ピアノコンクール』を開催することといたしました。

既に現在、日本国内で多くの『国際ピアノコンクール』は行われております。その中でも、国際音楽コンクール世界連盟の基準に沿

3月18日(土)~26日(日) 全席自由

詳しくはホームページまたは事務局までご連絡ください。

<http://www.tipc.jp>

いつつ、香川・高松独自の「ともに夢をともに感動を」というコンセプトのもと、入賞者には、特徴ある副賞を準備し、皆様にとっても魅力的なコンクールにしたいと思っております。皆様とは、コンクールの出場者、コンクールを見に来ていただく方、そしてサポートスタッフとしてコンクールの運営等をお手伝いしていただける方、です。お陰様を持ちまして、出場者は世界25カ国306人もの応募をもち、締め切らせていただきました。後はコンクールを見に来ていただける方とサポートスタッフです。広く募集しておりますので、ふるって御参加下さい。世界各地から集まった、音楽家の様々な個性と才能を堪能すると共に、皆様で力を合わせて記念すべき『第1回高松国際ピアノコンクール』を作り上げて



お問い合わせ先 高松国際ピアノコンクール事務局
〒761-0194 香川県高松市春日町960番地
TEL:087-841-3936
FAX:087-841-3937 info@tipc.jp

スタッフ募集 ともに夢をともに感動を
運営サポーターとボランティアを募集しています。
ボランティア内
通訳(英語・伊語・仏語・独語)
ホームステイ先 参加者のサポート
コンクールチラシ配付等、宣伝のサポート
詳しくはホームページまたは事務局までご連絡下さい。

いきましょう。音楽を通して、世界に向けて、「TAKAMATSU」「SUNPORT」を発信できることを祈っております。



ヤンジン
シズカ楊静 (中国琵琶独奏者)
Yang Jin (Pipa)

レクチャーコンサート 中国琵琶・アジアの音色

～シズカ楊静 & 三木稔～

アジアの音色、ピーパ(中国琵琶)のやわらかくあたたかな響き

二胡を始めとしたアジア音楽は、最近では癒しの音色として広く親しまれています。今回はそんなアジアの伝統楽器の中でも人気の高い楽器のひとつ、ピーパ(中国琵琶)のコンサートを開催。

演奏は、日本のみならず、ヨーロッパ、アメリカなどでも活躍し、中国琵琶の天才奏者と称され、人気、実力とも最高であるシズカ楊静。ご案内は、オペラ「源氏物語」の成功などで知られ、シズカ楊静の作曲の師でもある作曲家の三木稔です。楽曲解説やお二人のトークも交えたアットホームな雰囲気の中、中国古来の曲をはじめ、日本歌曲のアレンジや映画音楽など、多彩なプログラムを予定しています。

4月21日(金) 開場18:30 開演19:00 サンポートホール高松・4F第1小ホール
[チケット] 全席指定 前売：一般/2,500円(会員/2,300円) 当日：一般/3,000円(会員/2,800円)
会員先行発売：2月11日(土・祝) 一般発売：2月15日(水)

三木稔 (作曲家)
Minoru Miki (Composer)



2月1日募集開始! 5月開講

基礎と実践の本格トレーニング 第一線の専門家が直々指南!

舞台芸術の人材養成を目的とした「舞台芸術育成事業」の『演劇ルネサンス工房』と『舞踊チャレンジ工房』が平成18年度からスタートします。両工房とも、舞台芸術の第一線で活躍する劇作家、演出家、振付家、舞踊家、ヴォイストレーナーらを指導者に迎え、基礎と実践を交えた本格的なトレーニングを実施します。

『演劇ルネサンス工房』はまず演劇創作の基礎となる「戯曲」と「俳優」のコースを設置。「戯曲コース」では戯曲の書き方から実作までをじっくりと指導し、「俳優コース」では声と身体と演技について実践的な演習を行います。一方、『舞踊チャレンジ工房』は伝統と現代をテーマに「日本舞踊」と「コンテンポラリーダンス」のコースを設置。「日本舞踊」では流派や流儀を超えて伝統的な所作や仕草から和服の立ち居振る舞いまでを学び、「コンテンポラリーダンス」では新しいダンスとして注目されている様式に捉われない自由な身体表現を体験していただきます。

サンポートホール高松では、こうした取り組みを通じて、舞台芸術の専門的な知識や技能を学べる拠点としての環境を整え、優れた人材の発掘・育成と新しい作品を創造・発信できる「市民文化の創造拠点」づくりを推進してまいります。

『演劇ルネサンス工房』

戯曲コース

講師：岩崎正裕

劇作家・演出家。劇団太陽族主宰。舞台芸術講座の実績多数。OMS戯曲賞受賞、兵庫県芸術奨励賞受賞。

俳優コース

台詞と演技のトレーニング

講師：ペーター・ゲスナー

演出家。劇団うずめ劇場主宰。第1回利賀演出家コンクール最優秀演出家賞受賞。桐朋学園演劇専攻講師。

身体と演技のトレーニング

講師：山下 残

舞踊家・振付家。コンテンポラリーダンスを中心に演劇・音楽・美術とのコラボレーションの実績も多数。

声と演技のトレーニング

講師：池内美奈子

英国演劇学校で日本人初のヴォイス学修士。日本大学芸術学部演劇学科講師、新国立劇場演劇研修所講師。

『舞踊チャレンジ工房』

日本舞踊コース

講師：花柳 基

舞踊家。花柳流師範。「基の会」主宰。日本大学芸術学部演劇学科講師。芸術選奨文部大臣新人賞受賞。

コンテンポラリーダンスコース

講師：山田せつ子

舞踊家・振付家。「枇杷系」主宰。国内外での公演多数。京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科教授。

対象/高校生、一般

経験不問。講座に参加できれば地域も問いません。

日本舞踊コースのジュニアクラスは小学4年生から中学生まで。

定員/戯曲コース10名 俳優コース20名

日本舞踊コース(ジュニアクラス20名、一般入門クラス20名)

コンテンポラリーダンスコース20名

応募多数の場合は講師による書類選考をさせていただきます。

受講料/戯曲コース25,000円 俳優コース30,000円

日本舞踊コース

(ジュニアクラス15,000円、一般入門クラス30,000円)

コンテンポラリーダンスコース20,000円

全納または2回分納 当日受付にご持参ください。

締切/4月15日(土) 当日消印有効

付記/各コースとも全講座の受講を条件とします。高校生以下の受講希望者は保護者の承諾が必要となります。

日程や会場などの詳細はお問い合わせください。

財団法人高松市文化芸術財団 事業課(担当：大森・磯村) 〒760-0019 高松市サンポート2番1号
TEL: 087-825-5010 FAX: 087-825-5040 E-mail: jigyo@sunport-hall.jp

平成18年度サンポートホール高松自主事業
舞台芸術育成事業
演劇ルネサンス工房
舞踊チャレンジ工房

事業レポート [観劇談で綴る演劇シーン]

サンポートホール高松では芸術の秋にふさわしい演劇事業が多彩に行われました。

小宮孝泰といえば「コント赤信号」の一人で、ちょっと地味だけど味のあるタレントさんとして記憶がある。

その彼が「ひとり芝居 接見」をやるといって、是非ともみたいと暑いなか、時間をやりくりしてかけつけましたよ。

所は「サンポートホール高松第1小ホール」最高の施設ですよ、300名収容のこじんまりとした小屋で、まさに「ひとり芝居」の舞台には打ってつけ、と思いつつ、彼の芸の世界にどっぷりとつかまりました。内容は1人の弁護士と被疑者とのやりとり。単調な話にもかかわらず、1時間余り、見る者を退屈させなかったのはさすがの芸の力でしょうか。

良い環境で、良い芸を...というのがサンポートホール高松の魅力であり、その意味ではちょっと客が少なかったかなと、外の暑い日差しの中、汗をかきながらの感想でした。

(サンポートホール高松 広報サポーター 大捕宣英さんより)



ある国選弁護士の物語
小宮孝泰ひとり芝居

接見

作・演出 / 水谷龍二 出演 / 小宮孝泰
2005年9月3日(土) 第1小ホール

演劇ワークショップの第一人者が、中学生を対象に対話のレッスン! 学校教育と演劇の新しい可能性を大公開!!

公開型ワークショップ

平田オリザの演劇モデル授業

講師 / 平田オリザ
2005年10月1日(土)
7F・第1リハーサル室



平田氏の「コミュニケーションの大切さを伝えたい・言葉に関心を持って欲しい」との思いから開かれた、「演劇授業」は二人一組で背中合わせになり立ち上がるゲームから始まりました。このゲームは、スポーツ選手のメンタルトレーニングにも取り入れられているそうです。

そして本題 3時間で自分たちだけでお芝居を作ろうへ。

最初は緊張もあってぎこちない演技でしたが授業が進むにつれ、次第に個々の個性が引き出されていました。

生徒たち自身で台詞を作るので、簡単に参加できること、フィクションの中で与えられた役を演じるので、比較的無口な子でも自然に授業に溶け込めること、という利点があり、既に一部の国語の授業に取り入れられているそうです。

今後「演劇授業」の普及を、期待したいと思います。

(サンポートホール高松 広報サポーター Nさんより)

[お客様アンケートより]

思いがけず山本陽子さんの舞台を観劇できて、嬉しい艶やかな舞台に満足!!

幕合いにライトをつけてくれるとなおいい。

素晴らしい出演者と素敵なホールに感動致しました。このような本物の舞台を今後も是非企画して下さい。

江戸っ子チャキチャキ娘が広い舞台を縦横無尽に動いていて、飽きる事がなくあつという間の3時間弱でした。



出演直前の山本陽子さん



平成17年度 松竹特別公演

付き馬屋おえん

- 女郎蜘蛛はわらう -

原作 / 南原幹雄 出演 / 山本陽子 他
2005年9月23日(金) 大ホール



青年団プロジェクト公演

ヤルタ会談 忠臣蔵・OL編

作・演出 / 平田オリザ
2005年11月3日(木) 第1小ホール

[お客様アンケートより]

すごい色々な個性がぶつかって面白かったです。

歴史観、視点が新しく風刺画を見ているようでした。



「ヤルタ会談」一場面

ここで青年団を見ることができるとは思っていなかったので見ることが出来るとても感動しました。

公演が始まったと思ったら場内アナウンスが入ってちょっと興奮しました。

これは青年団の演出のひとつです。(スタッフより)



「忠臣蔵・OL編」一場面

さんぽーとCLUB(友の会) 入会のご案内

「さんぽーとCLUB」はサンポートホール高松友の会の名称です。
1年中いつでも入会できます。入会要領は下記の通りです。

会員期間 / 1年間 会費 / 年会費2,000円

特典

- 財団が発行する情報誌や、催し物案内等を定期的にお届けします。
- 財団が指定する公演のチケットを、一般発売に先立ち優先的に予約または購入できます。
- 財団が指定する公演のチケットを、原則5%の割引価格で購入できます。
(ただし、サンポートホール高松コミュニケーションプラザでのご購入に限ります。)
- 財団の主催事業で出演されたアーティストの記念品等を抽選でプレゼントします。
- 先行発売期間中に購入できる枚数は、1公演につき会員お1人様5枚まで。ただし、会員価格で購入できるのは、会員お1人様2枚までとします。

入会の手続き

ご来館によるお申込み

入会申込書に必要事項を記入のうえ、年会費を添えて、1階コミュニケーションプラザにお申込みください。

現金書留によるお申し込み

入会申込書に必要事項を記入のうえ、年会費を添えて、サンポートホール高松友の会事務局に現金書留で郵送してください。

会員期間について

会員期間の有効期限は、入会日から1年を経過した日の属する前月の末日までです。
以後会員期間を更新するときは、翌月の初日から1年間とします。



ご意見をお待ちしています!

この情報誌に関するご意見やご感想、また今後の掲載(取材)希望などがあればお寄せ下さい。

宛先 / 〒760-0019

香川県高松市サンポート2番1号
サンポートホール高松

「サンポートホール通信編集担当」迄

お手紙・はがき・FAX (087-825-5040)・
メール (jigyo@sunport-hall.jp) でお願
いします。

さんぽーとCLUB(友の会) 会員の皆様へ更新のお知らせ

更新時期が近づいている会員様には、更新日の約1ヶ月前に更新手順のお知らせをします。よろしくお願いたします。今後も、ホールでの楽しい催し・公演情報の送付や、会員様特典の提供に努めて参ります。ご期待ください。

プレイガイド


サンポートホール高松・主催事業 チケットのお求め

サンポートホール高松1Fコミュニケーションプラザ
087-825-5008

チケットぴあ <http://t.pia.co.jp>

ローソンチケット <http://www2.lawsonticket.com/>

JR四国

主要駅のみどりの窓口・ワープ 各駅 

ゆめタウン高松サービスカウンター 087-869-7500

高松三越7F友の会 087-825-0768

ヤマハ高松店 087-822-3608

タマルレコード本店 087-861-2400

デュークショップ高松 087-833-5450

香川県庁生協 087-832-3822

高松市役所生協 087-839-2043

ミヨシ楽器店 0877-25-1234

秋山楽器店 0877-46-8066

オオサカミュージックセンター 0875-25-2201

サンポートホール高松コミュニケーションプラザ以外は事業ごとに異なります。

サンポートホール高松 施設利用のご案内

申込方法

窓口にて、使用許可申請書に必要事項を記入してください。

会議室、和室、リハーサル室、練習室はタカマツ・シティ・ネット(インターネット)より仮予約ができます。(ホールは不可)

<http://www.manabi.city.takamatsu.kagawa.jp/>

ただし、システムのご利用については、事前に利用者登録が必要です。また、仮予約から10日以内に窓口での正式予約手続きが必要になります。

施設利用のご相談 / 9:00 ~ 18:30 施設使用料のお支払・登録等 / 9:00 ~ 17:00

申込受付期間

使用日の1年前の月の初日から、使用日の前日まで。

ただし、全国大会、中四国大会規模以上のコンベンション(国際会議関連も含む)、国または地方公共団体が主催する事業などの場合、使用日の2年前の月の初日から受け付けします。

申請者の優先順位は原則として先着順です。ただし受付開始日(毎月1日)については、抽選により申請の順位を決定する場合があります。

詳しくは「ご利用案内」や財団ホームページ(<http://www.sunport-hall.jp/>)をご覧ください。

お問い合わせ先

高松市文化芸術財団

〒760-0019

香川県高松市サンポート2番1号

TEL 087・825・5000(代)

FAX 087・825・5040

<http://www.sunport-hall.jp/>

サンポートホール高松



サンポートホール高松





The 1st Takamatsu International PIANO COMPETITION

2006.3.18 SAT - 3.26 SUN
会場/サンポートホール高松 3F 大ホール

ともに夢を とともに感動を

文化の香り豊かな香川・高松で4年に1度開催される「高松国際ピアノコンクール」。
その特色は、優勝者にヨーロッパの著名オーケストラとの共演やリサイタル等、世界に認められる音楽家としての活躍をサポートすることをはじめ、他の本選出場者にも、世界に羽ばたくチャンスを提供することです。
第一次審査から本選までを一般公開しますので、観客の皆さんとともに、感動のステージを創り上げることができます。
あなたも、この記念すべき「第1回高松国際ピアノコンクール」にぜひご協力ご参加ください。

第1回高松国際ピアノコンクール

第一次審査から本選までを一般公開

チケット発売中

審査日程

第一次審査	第二次審査	第三次審査	本選
3.18 SAT	3.20 MON	3.24 FRI	3.26 SUN
3.19 SUN	3.21 TUE	TIPCオーケストラとのピアノ協奏曲を演奏。	本コンクール委嘱作品、TIPCオーケストラとのピアノ協奏曲を演奏。

※第一次、第二次審査は、高校生以下無料。

コンクール概要

音楽顧問	田村 宏
音楽監督	堤 俊作
審査員長	岩崎 淑
審査員	青柳 晋 池辺 晋一郎 神谷 郁代 ダニエーレ・アジマン ディーナ・ヨツフェ ピオトル・パレチニ フェルナン・ユング フランツ・アルバナーゼ イワン・ドレニコフ 他

表彰	第1位 1,000,000円
	●ヨーロッパの著名オーケストラとの共演
	・イタリア ———— オーケストラ モリーゼ州立交響楽団
	・ルクセンブルク — オーケストラ ルクセンブルク室内管弦楽団 会場 ルクセンブルク音楽院 大ホール
	・ドイツ ———— オーケストラ ベルリン楽友管弦楽団 会場 ベルリンフィルハーモニー・ザール
	●ヨーロッパの著名ホールでのソロリサイタル
	・イタリア ———— 会場 国立ヴェルディ音楽院 サーラ・ブッチーニ
	●日本での公演
	・東京 ———— オーケストラ ロイヤルチェンバーオーケストラ 会場 紀尾井ホール
	・静岡 ———— オーケストラ 静岡交響楽団 会場 静岡グランシップ(中ホール)
	第2位 500,000円
	第3位 300,000円



サンポートホール高松

〒760-0019
香川県高松市サンポート2番1号
TEL. 087-825-5010
<http://www.sunport-hall.jp/>



■主催 / 高松国際ピアノコンクール組織委員会 ■共催 / 財団法人 高松市文化芸術財団
■後援 / 外務省・文化庁・香川県・高松市・香川県教育委員会・高松市教育委員会



サポートスタッフを募集しています。

- 募集内容 ●通訳(英語・伊語・仏語・独語・中国語・露語等) ●ホームステイ先
●参加者のサポート ●コンクールチラシ配布等、宣伝のサポート
●当日運営のお手伝い ※詳しくはホームページまたは事務局までご連絡下さい。

お問い合わせ先

高松国際ピアノコンクール事務局 TEL:087-841-3936
〒761-0194 香川県高松市春日町960番地 FAX:087-841-3937 info@tipc.jp

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.tipc.jp>



■寄付のお願い:本事業は、支援者からの寄付金により運営を行います。是非、寄付のご協力をお願い致します。